

2025年12月19日

日本ビジネス実務学会
中部ブロック研究会会員 各位

中部ブロック研究会 河合 晋（リーダー）
研究会実行委員長 川瀬 真弓（岐阜大学）

2025年度ブロック研究会 研究発表等の募集について（ご案内）

拝啓 師走の候、会員各位にはますますご活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、2026年2月7日（土）・8日（日）に、主幹校岐阜大学様のもと、ハートフルスクエアG（岐阜市）にて「2025年度中部ブロック研究会」を開催します。今年も、会員各位にお目にかかる 것을楽しみにしております。

まずもって、下記のように「研究発表」「学生発表」および「パネルディスカッション登壇者」の募集をいたします。会員各位の研究ご研鑽の場、または学生の発表機会の場としてご活用いただきたく、多数のご応募をお待ちしております。

敬白

1. 募集内容

（1）研究発表

理論・実践報告・教育技法・キャリア教育など、多様なものが期待されます。

「テーマ」・「発表者名」・「所属機関名」をお知らせください。なお、発表要旨の事前提出は求めません。また、発表スライド等の紙配布は、発表者の任意としますが、発表スライドのQRコード化を推奨しております。

※2025年度中部ブロック個人研究助成対象者は、必ず発表してください。

（2）学生発表

学生の学びや地域・産学連携等の取り組み実践を発表する場を設けます。

先生方にはご指導の労多いことと拝察しますが、学生のプレゼンテーション能力向上のインセンティブとしてご利用いただくとともに、学びや取り組み実践のリフレクションの機会として、奮ってご応募くださるようお願いいたします。

「テーマ」・「発表者名」・「所属大学名」をお知らせください。なお、発表要旨の事前提出は求めません。また、発表スライド等の配布は、発表者の任意としますが、発表スライドのQRコード化を推奨しております。

※発表学生には、旅費交通費補助制度（実費、上限1万円、1発表2名まで）があります（中部ブロック所属会員の大学・短大の学生に限ります）。

（3）パネルディスカッション登壇者

「生成AIと高等教育での活用」をテーマに、講義で生成AIをどのように活用されているのかの事例紹介や、生成AIの普及に伴う高等教育の在り方について、ディスカッションを行います。

講義で生成 AI を積極的に活用されている先生方に、事例の紹介をお願いします。簡単な紹介スライドのみご用意ください。

2. 応募先と方法

- ・応募先： 中部ブロックリーダー 岐阜協立大学河合研究室 宛
- ・応募方法： 電子メール kawai@gku.ac.jp
- ・応募期限： 上記（1）（2）（3）ともに 1月 25 日（日）

3. 開催日程と場所

- ・日 程： 2026年2月7日（土）13時～17時 / 8日（日）9時～12時
- ・場 所： ハートフルスクエアG（岐阜市橋本町1丁目10番地23）
<https://gikyobun.or.jp/heartful/>
- ・アクセス：
<https://gikyobun.or.jp/heartful/access/>
JR岐阜駅より徒歩2分（駅構内から2F連絡通路で通じています）

4. 備考

- ・懇親会は、2月7日（土）18:00～円相（<https://enso.ne.jp/enso/tamamiya/>）を予定しております。
- ・研究会および懇親会の参加登録は、1月下旬のプログラム配信と同時に、Google Formをお送りします。

以上

| | |
|------------|--------------------|
| 中部ブロック運営委員 | |
| リーダー | 河合 晋（岐阜協立大学） |
| サブリーダー | 岡野 大輔（金城大学） |
| 委員 | 上野 真由美（名古屋葵大学） |
| 委員 | 梶山 亮子（千葉経済大学短期大学部） |
| 委員 | 大須賀 元彦（中京学院大学） |
| 委員 | 川瀬 真弓（岐阜大学） |